

質問者：中台特別部会員

令和2年度第2回 足立区地域保健福祉推進協議会  
「子ども支援専門部会」における事前質問に対する回答

1 報告事項

(1) 青少年実態調査について

Q1 「足立区青少年実態調査（案）」の子ども票の表紙に記載された＜回答にあたってのご注意＞の2行目に『ご家族に見せる必要はありません』とありますが、これは現実的に可能なこととお考えでしょうか？

最終的に保護者票と同封して返送するという事は、いくら子が回答後に封をしてから保護者に渡したとしても、保護者が開封して中身を確認することは十分に可能であると思われます。そして、子の回答内容が保護者の意にそぐわなかった場合、保護者が破棄もしくは、子に修正を強要することも可能であると思われます。

子にとって家庭が100%安心安全と言えるわけではない昨今、適切な支援の在り方を検討するための基礎データを得るための調査であるならば、貧困や安心安全ではない環境下に置かれている子の声こそ拾わなくてはなりません。

そのあたりの声は、WEB回答で拾い上げられれば良いというお考えであれば、WEB回答の回答率を上げるための工夫はどのようなものになっておりますでしょうか？

A1 委員ご指摘の点については、区としても認識しております。

今回の調査は、区としてはじめての取り組みであり、区で実施している「子どもの健康・生活実態調査」を参考に制度設計いたしました。この調査では、自宅等で各々が調査票に記入・封入の上、学校に提出するしくみであり、これまで、保護者が回答に関与しているようなことは確認されておられません。

しかしながら、委員ご指摘の点については、調査票の回収時に開封された形跡の有無や調査対象者からのご意見などを検証し、次回以降に反映してまいります。

また、WEB回答の回答率向上については、調査対象年齢層がスマートフォンなどの操作に習熟していることから、この回答方式を採用しております。依頼文に表示したQRコードを読み取ることで簡単にアンケートフォームにアクセスし回答できることを周知し、若年者の貴重な意見を収集できるよう努めてまいります。

さらに、今回は調査全体の回答率向上のため、謝礼として回答者一人ひとりに1千円のQUOカードをお送りすることをPRし、WEB回答の回答率向上にもつなげてまいります。